

製本のススメ

Vol. 120

新しいランドセルの子供達 思えば先月は幼稚園生だったわけで、急に子供らしくなった感じがしますね。健やかに育てほしいものです。そのためには大人が まずは正しい社会人として手本を見せなくてははいけませんね。

今回は**見返し用紙**の話し

並製本・上製本ともに見返しという部材が使われます。このススメでも何度か話題にしてきました。今回 120 号(ちょうど 10 年目)でもあるので、ぐっと踏み込んでお話ししましょう。

見返しと一口に呼びますが【**力紙チカラガミ**】と【**遊び紙**】に分かれています。見返し用紙には二つの重要な役割があるため、あえて二つ折りにした用紙の半分ずつを呼び分けているのです。

チカラガミ「力紙」は、効き紙キキガミとも呼ばれ、表紙に直接接着される側(表 2 や表 3)を指します。**見返し本体と表紙をしっかりと繋ぐ役割があります。**

遊び紙は、本文側のノド部分に接着されます。呼び名は遊び紙ですが、**見返し本体と本文をつなぐ役割があります。**普通の二つ折りとは全く違う用途があるわけです。当然ながら**見返し紙は丈夫であることが第一条件**ですので、紙選びは十分に考慮しましょう。

さて、呼び名は違っても やはり 1 枚の紙を二つ折りしただけですから 強度には限界があります。そこで折山に補強を施してさらに強度をあげる事があります。

貼り見返し 基本的な見返しです、上記に書いてあるのは貼り見返しです。

巻き見返し 本文前後の折丁へ のど側3ミリ程度巻き込んで貼ります。

継ツギ見返し それぞれをペラにし、継部分を キアラコ(補強用布材)などで繋ぎあわせた見返しです。

帳簿や日誌類 上製 写真集など用途に応じて(又は本文用紙の如何により)見返しの加工方法は変える必要が出てきます。

実は・・・ほかにもその国々によって、見返しの加工が変わりますが、書き始めると長くなるので省略いたします。次回は見返しの粹な役割について、お話いたします。



Tea break

気が付けば120号になりました。現在1号から(PDF)順次HPにてアップしています素人の作業でなかなか捗りませんが、毎月更新していますので、見逃した号があれば見に来てください。このススメが皆さんの製本基礎知識に少しでも役立つのであれば幸いです。

弊社ホームページはこちら www.isekiseihon.com

by (株) 井関製本